



Cloud Data Center Security WG 活動報告

CSA ジャパン 業務執行理事
Cloud Data Center Security WG
Co-Chair
諸角 昌宏

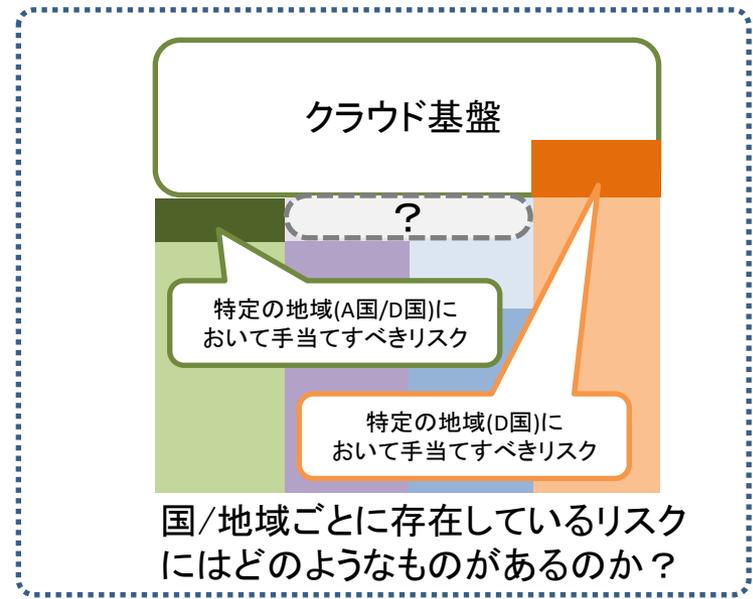
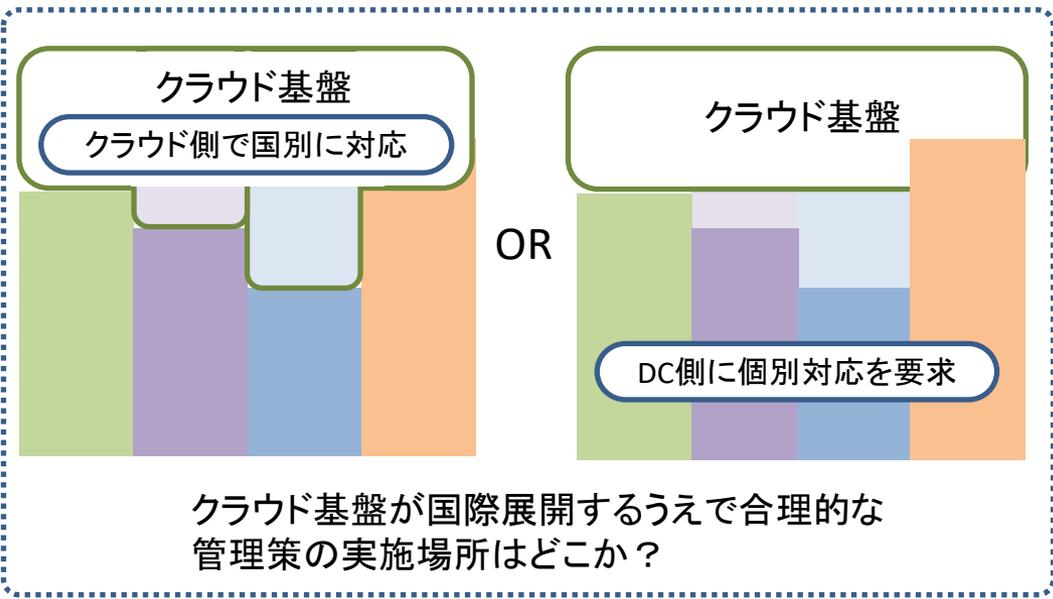
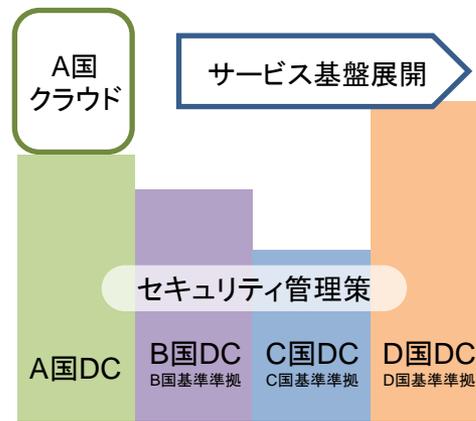
Agenda

1. Cloud Data Center Security WGとは？
2. ガイダンスについて
3. WGの活動状況とメンバー
4. 日本発 CSA本部WGの意義



Cloud Data Center Security WGとは？

- Cloud Data Center Security WGは、JDCCとのコラボにより、CSA本部のWGとして立ち上げ
 - データセンター施設の物理セキュリティにフォーカス
 - データセンター・インフラとして重要となる内容および管理策を記載
- 目的
 - データセンターは、クラウドコンピューティングにおいて重要なインフラであり、ファシリティの物理セキュリティの観点から改めて考える
 - グローバルに通用するガイダンスを作成する
 - ファシリティに共通する機能、リスク管理策を明確化する
 - 各国ごとの法律およびリスクを網羅。ある国にデータセンターを設置しようとする際に、参照可能



各国/地域のセキュリティの基準と、その背景となる国/地域のリスクを、共通するセキュリティに関する取り組みにおける「考え方」とともに共有することで、クラウドサービス事業者のサービス基盤の円滑な海外展開を支援する。

ガイドンスについて

- ガイドンスの内容
 - 基本的に、JDCCが公開している「データセンター セキュリティ ガイドブック 2015年度版」を英訳
 - 国ごとのリスク、標準、規則を附属書に記載
 - 共通部分は本文(1章から4章)、国ごとの情報を附属書に記載という構成
 - バージョン1では、国ごとの情報として、日本、シンガポールを記載
 - 今後、各国の情報を記載していく予定
- ガイドンスの構成
 - 1章： はじめに
 - データセンター用語、構成要素、セキュリティ要件
 - 2章： データセンターサービス
 - データセンターが提供する一般的なサービスの内容
 - 3章： データセンターのセキュリティと管理策
 - データセンターで起こりうる脅威と管理策、典型的なセキュリティ管理策の展開例
 - 4章： データセンターに関する標準、ガイドライン、認証
 - 既存の標準、ガイドライン、関連する認証スキーム
 - 附属書 1: CSA STAR Certification Program
 - 附属書 2: 国ごとの標準と認証プログラム
 - A2.1: 日本
 - A2.2: シンガポール

WGの活動状況とメンバー

• 活動状況

- データセンターセキュリティのガイダンスを作成、CSA本部よりグローバルに公開
 - バージョン1を今年中にリリース予定
- ガイダンスに基づいて、CCM/CAIQのレビューを実施。
追加の管理策等が必要な場合には、CSA本部のCCM WGに提言を実施。
- ガイダンスに対するグローバルからの意見をもとに、JDCCへのフィードバックを実施。

• メンバー

• Co-Chairs

- Alex Ng (Clearmanage)
- Wataru Mito (Japan Data Center Council (JDCC))
- Masahiro Morozumi (CSA Japan Chapter)

• CSA

- Mickey Law
- Shuqi Huang

• Contributors

- JDCC members, CSA Japan Chapter members, Basecamp Members

日本発 CSA本部WGの意義

- CSA本部のWGの特徴
 - ボトムアップ型で敷居が低い
 - 研究テーマを持った人がCSA Research Teamにプロポーズし、承認されればWGとしての活動を開始できる
 - 非常に機動性が高い
 - 標準化ではなくベストプラクティスを作成していくため、活動やアウトプットが早い
 - CSAの立場を利用してグローバルに情報発信が可能
- 日本発、CSA本部WGの意義
 - 日本の活動を、CSAのチャネルを使ってグローバルに発信できる
 - 海外からも、日本からの情報発信を期待しているところがある
 - 例) Cloud Data Center Security WGについて
“Japan is operating differently from the rest of the world where there is high level of trust and hence such document might be useful.”
 - CSAジャパンとして、クラウドセキュリティを中心として、日本からグローバルへの橋渡しに貢献していく

ありがとうございました！